

学習指導要領		都立足立高校 学カスタンダード
<p>(1) 現代世界の特色と諸課題の地理的考察</p>	<p>世界諸地域の生活・文化及び地球的課題について、地域性や歴史的背景を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を深めるとともに、地理的技能及び地理的な見方や考え方を身に付けさせる。</p> <p>ア 地球儀や地図からとらえる現代世界 地球儀と世界地図との比較、様々な世界地図の読図などを通して、地理的技能を身に付けさせるとともに、方位や時差、日本の位置と領域、国家間の結び付きなどについてとらえさせる。</p>	<p>[位置、方位、時差]</p> <ul style="list-style-type: none"> 緯度・経度の仕組みや地軸の傾きによる季節の変化の理由、回帰線・極圏の役割について、地球儀を活用して論理的に説明できる。 サマータイム制度が設けられた目的を説明できるとともに、航空機による移動などの諸要件を取り入れた複雑な時差の計算ができる。 <p>[地球儀、世界地図]</p> <ul style="list-style-type: none"> メルカトル図法やミラー図法、正距方位図法、ホモロサイン図法などの作成方法を理解し、その特徴と用途を説明できる。 <p>[日本の位置と領域]</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然的国境や人為的国境の特徴と具体的な例を挙げることができる。また、日本固有の領土である北方領土問題と竹島、尖閣諸島の近年の動向と我が国の主張の正当性について歴史的経緯を踏まえて説明できる。 <p>[国家間の結び付き]</p> <ul style="list-style-type: none"> 主要な国際組織について、その設立意義や現状と課題を理解する。また、FTAやTPPなど近年の世界貿易の動向について簡単に説明できる。 交通や通信の発達と経済活動のグローバル化により国家間の結び付きが深まっていることについて、年次の異なる主題図や統計を活用して説明できる。 <p>[自然環境と人間生活]</p> <ul style="list-style-type: none"> プレートテクトニクス理論によるプレートの移動の仕組みを理解し、三つのプレート境界における地殻変動について説明できる。 世界や日本の主な地形について、その成因や人間生活との関わりを説明できる。 大気の大循環の仕組みを説明できるとともに、ケッペンの気候区分の分布と特色、人々の生活について説明できる。また、「月平均気温・月降水量」のグラフなどからケッペンの気候区を判別できる。

学習指導要領	都立足立高校 学カスタンダード
<p>イ 世界の生活・文化の多様性 世界諸地域の生活・文化を地理的環境や民族性と関連付けてとらえ、その多様性について理解させるとともに、異文化を理解し尊重することの重要性について考察させる。</p> <p>ウ 地球的課題の地理的考察 環境、資源・エネルギー、人口、食料及び居住・都市問題を地球的及び地域的視野からとらえ、地球的課題は地域を越えた課題であるとともに地域によって現れ方が異なっていることを理解させ、それらの課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることについて考察させる。</p>	<p>[宗教、民族と人間生活]</p> <ul style="list-style-type: none"> 現代世界における主な民族問題や地域紛争について具体的な例を挙げた上で、その背景や現状について簡単に説明できる。 <p>[世界の諸地域の生活・文化と多様性]</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の諸地域の生活・文化の多様性について、自然環境とともに、歴史的背景を踏まえ、民族、宗教、産業、貿易、日本とのつながりなどと関連付けて説明できる。また、異文化を理解し尊重することの重要性について説明できる。 <p>[地球的課題と解決に向けた取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な地球的諸課題について、それぞれの分布、現状、原因及び相互の関連性について、世界的視野から説明できる。 地球的課題は同じ原因であっても地域によって現れ方が異なることを、地形、気候、人口、産業などの違いから説明できる。 地球的諸課題の解決について、各国の取組や世界全体で取り組む必要性を理解した上で、我が国がどのように取り組むべきかなど、国際社会における我が国の果たすべき役割を理解する。

学習指導要領		都立足立高校 学カスタンダード
<p>(2) 生活圏の諸課題について、地域性や歴史的背景を踏まえて考察し、地理的技能及び地理的な見方や考え方を身に付けさせる。</p> <p>ア 日常生活と結び付いた地図 身の回りにある様々な地図の収集や地形図の読図、目的や用途に適した地図の作成などを通して、地理的技能を身に付けさせる。</p> <p>イ 自然環境と防災 我が国の自然環境の特色と自然災害とのかかわりについて理解させるとともに、国内にみられる自然災害の事例を取り上げ、地域性を踏まえた対応が大切であることなどについて考察させる。</p> <p>ウ 生活圏の地理的な諸課題と地域調査 生活圏の地理的な諸課題を地域調査やその結果の地図化などによってとらえ、その解決に向けた取組などについて探究する活動を通して、日常生活と結び付いた地理的技能及び地理的な見方や考え方を身に付けさせる。</p>	<p>[身の回りにある地図の収集と地形図の読図]</p> <ul style="list-style-type: none"> 市街図、道路地図、観光案内図などの身の回りにある様々な地図の特徴を説明し、用途に応じて適切な地図を活用することができる。 地形図を基に、土地利用や集落の位置などから地形と人間生活のかかわりを説明できる。また、新旧地形図の比較から地域の変容を説明できる。 <p>[主題図の作成]</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の設定したテーマに沿って、土地利用図や階級区分図、図形表現図やイラストマップなどを作成することができる。また、地理情報システム（GIS）を用いた主題図をつくることができる。 <p>[我が国の自然環境の特色と自然災害]</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国の自然環境の特色を踏まえ、過去の自然災害について、原因、被害状況、対応について説明できる。 <p>[自然災害と防災]</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活圏で過去に発生した自然災害の記録やハザードマップなどから、想定される自然災害について理解し、自らの安全を守る対応を説明できる。 <p>[課題解決のための地域調査]</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活圏の課題を設定し、地形図の読図や文献資料の精読を行い、その上で現地での観察、見学、聞き取りなどの調査活動を行うことができる。 調査結果を分析し、まとめ、適切な図表や主題図などを用いて表現し、発表することができる。 	